

期末試験と成績評価について (1)

2016年12月14日
2016年度「企業論」
川端 望

成績評価について

- (以下はガイダンススライド17のコピーである)
- 期末テスト・小テスト・授業中の発言で評価する。
- 配点(シラバスから変更したので注意！)
 - 期末試験:80点。
 - 小テスト:20点
 - 100点満点の枠外で, 発言1回につき最大3点加点。
 - 修正したシラバスは教員の授業サイトに掲示する
- 過去の試験についてはウェブサイト参照
- 履修放棄について
 - 期末試験時に答案に「放棄」と書くことによって履修放棄することは不可とする
 - もしGPA計算をする場合, 大学の基準では履修放棄は不合格と同等となる

期末筆記試験の方法

- 出題の少なくとも一部は穴埋め式または選択式である。さらに加えて記述式も出すかどうかは非公開。
- 出題範囲は「2 内部組織」以後すべてとする
 - 第2章を含む。
 - (1)取引費用経済学(TCE)に沿った説明を求める, (2)講義での教員の見解に沿った説明を求める, (3)受講者自身の見解を求める, のいずれであるかの区別が明らかないように出題する。
- 以下のもののみ持ち込み可(掲示する)。
 - A4の紙1枚。文字や図表を両面に手書き, 印刷, コピーで書き込んでよい。ただし, 別の紙や, その他のものを貼り付けてはいけない。(厳重な注意「A3」でなく「A4」である。A3を持ち込んだ場合は没収する)

持ち込みQ & A

- Q: プリンターでA4の紙に直接印刷してよいか？
A: 可。
- Q: コピー機でA4の紙に直接コピーしてよいか？
A: 可。
- Q: A4の紙にノートやレジュメを切り貼りしてよいか？
A: 別紙を貼るのだから不可。
- Q: 付箋を貼ってよいか？
A: 別紙を貼るのだから不可。
- Q: 2枚の紙を張り合わせて裏と表にしてよいか？
A: 1枚の紙ではなく、どちらかが別紙になるから不可。
- Q: 切り貼りしたものをA4の紙にコピーしたものは？
A: できあがりA4の紙1枚なら可。

過去の出題について

- 2006, 2008, 2009, 2010, 2012, 2014年度の
期末試験問題と解答は以下で公開されてい
る。
 - <http://www.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/jugyofile/jugyokigyoo.htm>
- 過去と同じ出題が一つもないとは限らない。

この講義の基本的な組み立てを 理解しておくこと

- TCEの主張をきちんと理解する。
 - TCEの理論。
 - TCEによる日本の企業システムの説明。
- この講義の主張をきちんと理解する。
 - TCEによる日本の企業システム理解はどこまで有効で、どこがおかしいか。
 - TCEによらないのであれば、日本の企業システムをどう理解すべきか。
- この講義に沿って、日本の企業システムとその変化を理解する。
- この講義の見解に納得できなければ自説を構築する。

何で勉強すべきか

- スライド＋講義ノート
- 宮本光晴『企業システムの経済学』と上井喜彦・野村正實編著『日本企業 理論と現実』。
- 第4章：濱口桂一郎『若者と労働』（中公新書ラクレ）、『日本の雇用と中高年』（ちくま新書）、『働く女子の運命』（文春新書）のいずれかを読む。
- ミルグロム＆ロバーツ『組織の経済学』巻末の用語集。
- 第4章と第5章：講義資料のページ記載の川端によるノート，論文草稿。
- 各章末に記した参考文献。